

受益者の皆さまへ

2022年5月10日

弊社ファンドの基準価額の下落について（5月10日）

下記公募ファンドの5月10日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】

ファンド名	5月9日	5月10日	前営業日比	騰落率
CAMベトナムファンド	25,169円	23,871円	▲1,298円	▲5.2%
ベトナム成長株インカムファンド	17,720円	16,722円	▲998円	▲5.6%
世界シェールガス株ファンド	16,108円	14,641円	▲1,467円	▲9.1%

【為替】

為替レート	5月9日	5月10日	前営業日比	騰落率
ベトナムドン（100単位）/円	0.5697	0.5665	▲0.0032	▲0.6%
米ドル/円	130.78	130.03	▲0.75	▲0.6%
カナダドル/円	101.08	99.88	▲1.20	▲1.2%

* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

【株価】

株式指数	5月6日	5月9日	前営業日比	騰落率
ベトナムVN指数	1,329.26	1,269.62	▲59.64	▲4.5%
S&P500 エネルギー株指数	630.62	578.26	▲52.36	▲8.3%

基準価額下落の背景と今後の見通し

ウクライナでの戦争長期化や中国での新型コロナウイルス対策によるロックダウン、世界的な金融引き締め見直しなどの悪材料を受けて、株式市場は世界的に大幅に下落しました。ベトナム株式市場では、マージンコールに絡む売却が伴ったことから下げ幅を拡大し、またシェールガス関連銘柄については、中国のエネルギー需要減速に対する警戒感に加え、サウジアラビアが、アジア、ヨーロッパ向けの軽質原油の価格を引き下げたことも売り材料となり大幅安となりました。

ベトナム株式市場については、VN指数の本年度PER予想が12倍台と比較的割安で、また企業業績も好調であることから今後は回復する展開を予想しています。シェールガス関連銘柄については、中国のロックダウンの状況やウクライナ情勢を睨んで不安定な推移をする可能性は否定できませんが、新型コロナウイルスの感染に対する規制措置緩和後の経済活動正常化を背景としたエネルギー需要拡大への期待から、安定的な上昇トレンドに回帰すると予想しています。

<投資信託に関するご注意>

■ 投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

■ 投資信託に係わる費用について

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

<当資料に関するご注意>

■ 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■ 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■ 本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会